

THE
Lion

336-C 1R3Z FUKUYAMA SHINICHI

6

June
2013

新市ライオンズクラブ会報

2012.7~2013.6

ガバナースローガン

『変えるのは行動、変えないのは志

「We serve」』

ガバナー 福永 栄一

福山新市L.C.会長スローガン

『磨く感性 感動の奉仕を』

会長 藤岡 孝二

青少年健全育成講演会 トークショー & 落語
風間杜夫 あくなき挑戦の世界

(主催) 福山新市ライオンズクラブ





8月19日 素盞鳴神社奉仕清掃



9月9日 少女フトベースボール大会



10月11日 「愛の献血」



11月3日 第10回グランドゴルフ大会



11月21日 府中LC・福山新市LC合同例会



12月9日 風間杜夫トークショー&落語

『会長を終えるにあたり』

会長 藤岡 孝二

昨年1月より会長代行を仰せつかり、今までとにかく長かったと云う思いで一杯です。アクシデントにより第二副会長就任以来、仕事や生活をライオンズシフトに切替、伝統あるクラブ運営に支障を来さない様に心掛ける事が精一杯で、さしたるアクティビティを行うこともなく会長の任を終えることに些かの躊躇いを禁じ得ませんが、私が当初より目指したC.N.50周年への財政基盤の確立と要員確保が図られました事においては、安堵いたしております。

振返って入会当初、今は亡き出原誠三元会長の言辞に発憤興起した事が昨日の如く思い返されます。“藤岡さん、クラブの大半の方が社長若しくはそれに準ずる方たちばかりですよ、それなりの企業経営をなさつておられると思いますが、クラブの役を担つて頂くと、各々の会社での仕事のレベルを窺い知る事が出来ますよ”これにはライオンズ活動と云えど気を抜くわけには行かないなと思うと同時に、私の日頃の会社に於けるレベルを推し量られるようで緊張したものでした。残念ながら、私が幹事を担う年の平成19年5月病のため急逝されました。今の私を、泉下の会長が如何に評されるか伺ってみたい衝動に駆られて止みません。

さて昨年7月会長に就任以来、清水幹事にはライオンズ活動を始めとして公私に亘りサポート頂き感謝の念に堪えません。たしか次年度入会者の要請に奔走している時、私が夢で新入会員の入会式のおり、新入会員が1卓に7人座っている夢を見たよと、他愛の無い話をしました時、是非正夢にしましょうと、出原会員委員長を巻き込み、今年度8人の入会者を得ました事は周知の事でございます。この誌面をお借り致しまして、関係各位の皆様に篤くお礼申し上げます。



又、今年度私は清水幹事並びに小林会計と約束をした事があります。それは事務局の伊藤さんにはかなり厳しく聞こえたと思いますが、事務局頼りや事務局任せの運営に終始してはならない。更には手厳しい言い方ではありますが、事務局を信用するな！しかし、疑ってもいけない！事実を確かめろ！でございました。起きた結果は全て会長の責任であり、事務局に責任の転嫁をしてもいけないと云う事の約束でした。大半の方が事業経営者である当クラブでは、至極当然の事であろうと思われますので、次年度以降に於きましても左様心得て頂ければと思います。

最後になりましたが、この1年役員並びに各正副委員長の皆様にはご協力を賜り、当初の成果を収め恙無く終えられることに感謝いたしますとともに、メンバーの皆様のご支援を頂きました事に深甚なる敬意を表し、会長を終えるに当たっての弁に代えさせて頂きます。

『一年を振り返って』

幹事 清水 利彦

藤岡会長の掲げられたスローガン「磨く感性 感動の奉仕を」のもと、至らないながらも幹事をつとめさせていただきました。

当クラブにおいては1/49に過ぎない一年ですが、私にとっては多くの貴重な経験をさせていただき、中身の濃い一年でし



た。この一年間の思い出の数はつとめた日数よりも多いと思います。

とりわけいろんな経験の中で特に忘れられない、というよりいまだに時々夢に見てうなされてしまう失敗なのですが…藤岡会長は何事も「確認」が大事であることを常日頃仰っておられ、私自身、会社においても地域においても「確認」の重要性はわかっているつもりでした。

ところが！ 対外アクティビティとしては当クラブの重要な柱である「愛の献血」において、私の事前の確認不履行により、当日「卵」と「牛乳」が手配できないというハプニングが起きました。藤岡会長の咄嗟の判断でとりあえずはことなきをえましたが、全身の血の気が引き、毛穴という毛穴が開いて粘っこい汗が全身から滲み出る、と言う人生においてなるべくなら避けたい経験を致しました。

その節には関係者には多大なるご迷惑をおかけしました事を改めてお詫び申し上げます。

その後の教育講演会、その他アクティビティにおいては、会場の下見、事前打ち合わせなど「事前確認」を身をもって教えていただき、小事はありますが皆様のご協力もあってスムーズに運んだのではなかろうかと思っております。

そして、幹事という役割上、地区内外のクラブの運営や組織を見させていただく機会が多かったのですが、我が福山新市ライオンズクラブほど民主的で結束力があり規律正しいクラブはないと実感させていただ

き、まさに Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety たる団体であると思います。改めて福山新市ライオンズクラブのメンバーであることに誇りを持ちました。

本年度はたくさんの仲間が増え、その1人1人に福山新市ライオンズクラブのメンバーであることの誇りと喜びを持っていただきたいと切に願います。

歴史と伝統ある福山新市ライオンズクラブの幹事を務めさせていただいたこと、幹事という役回りだからこそ見聞き・経験出来ないことを体験させていただき、私の人生の中でも忘れない思い出になりましたし、学んだ経験は今後の人生に於いておおいいに生かせることが出来ると確信しております。

まだまだ書き綴れない事はたくさんありますが、藤岡会長の掲げられたスローガンの中で「感動」させていただいたのは誰よりも私自身だったように思います。

藤岡会長をはじめ、メンバーの皆様、事務局伊藤さん、出会った全ての方々、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

散文お許しください。

『次年度への想いを寄せて』

第一副会長 藤原 平

福山新市ライオンズクラブの今期も残すところ1ヶ月となり、私自身は気分的には気忙しい日々を過ごしています。この1年間を振り返ってみまして果たして第一副会長としての責任を全う出来たであろうかを自問すると、いささか心もとないと感じますと共に、藤岡会長をはじめ会員の皆様に色々とご迷惑をおかけした事を深く反省するところであります。

この1年のクラブ活動で端的に云える事は藤岡会長の強力な指導力の下にクラブ全



体のエクステンション（会員増強）であります。この課題はライオンズクラブが存在する限り永遠の課題であり、ここ数年努力はなされて来ましたが、なかなか成果を見ることができませんでしたが今年度は7名の増員がなされました。この数字は圧倒的なものであります。見事本年のキャビネット・アワードの優秀賞を獲得されました。この事がもたらす影響は大変大きく、毎例会を活性化させると共にクラブの財務運営においても安定化を計れるものであり、藤岡会長も次年度クラブ50周年を迎えるにあたり強く意識され努力いただきました。次年度会長を預かる私といたしましても心から御礼申し上げます。又、336-C地区内において大変困難な中、大幅なエクステンションが出来たのも我がクラブの伝統と団結があったからこそと考えられます。

いよいよ次年度は我がクラブは創立50周年を迎えます。大きな節目の年であります。ここ数十年、国・域経済社会が混迷を深める中にも変わらぬクラブ組織の生成発展を見られたのも今までの先輩会員をはじめとする現メンバーの皆様のライオンズクラブ活動と地域（新市）を想う熱情があつたからこそと想います。私もこの想いをさらに強くして次年度クラブ運営に望む所存であります。どうぞ宜しくご理解ご支援いただきますようお願ひいたします。本年度の御礼の言葉とさせていただきます。

『次期幹事を拝命して』

次期幹事　棗田　和敏

例年は日中汗ばむほどの季節ですが、本年は少し肌寒い異常気象のゴールデンウィークとなりました。婦人衣料を取り扱います私としては少し残念です。

私は府中の本山で生まれ育ち、学卒後、佐々木要右衛門商店にお世話になり、地場産業である繊維の道に入ることになりました。当時の得意先でありライオンズメンバーでおられます鎌倉知機太さんよりの御縁で棗田に入り、上戸手に住むことになりました。どう地域に溶け込む事が出来るか不安でしたが、正和会に入会し、いろんな活動を通じていつの間にか溶け込む事ができました。

ライオンズクラブに入会させて頂き5年半が過ぎようとしております、当時の会長中根さんに誘われ、果たして私に入会資格があるのだろうか、ライオンズ活動が十分出来るのだろうかと迷いましたが、今まで知らなかった他業種のメンバー、諸先輩と知り合うことも出来ました。そして、毎月の例会、奉仕活動、役員活動等を通じて、知らずしらずの内にライオンズのモットーである We Serve も染み込み始め、クラブ



に馴染み、私に刺激を、又、少しづつではあります、成長させていてくれるのではないかと思っております。

私は、今まで良き人、善き人、好き人と

出会わせて頂いた事、私を導いてくださった方々に感謝し、これからは少しでも地域に貢献できればと思っております。

来期は福山新市ライオンズクラブチャーターナイト50周年を迎えます。その大きな節目の年度にクラブ幹事を引き受けることとなり、役職が果たせるか、皆さまにご迷惑をかけないか、とても不安ですが、諸先輩に相談し、ご指導を仰ぎ、藤原次期会長、青木大会委員長、各役員、メンバーの皆様と一緒に、次期会長が言っておられます、楽しく新市らしさが發揮できる50周年を、企画実現出来ますよう頑張ります。よろしくご協力お願ひいたします。

『取り越し苦労』

地区PR・ライオンズ情報・IT委員
中根 義明

PR誌が皆様の手元に届くころには、地区のすべての活動が新年度に向けてあわただしく動いていると思います。

私の所属した委員会も、すべての活動を終えて、ホッと一息というところでしょう。

未知への不安の中、昨年の4月26日に行われた1R連絡準備会を皮切りに始まった地区活動も、終えてみれば当初の不安は何だったのかと思うくらい、短い一年を短く感じた一年でした。また、会合のたびに行われる懇親会は、多くの新しい仲間と出会って、人脈を広げることとなり、実り多い活動の一環でした。

私の生まれ育った田舎は、全戸17軒で2、3軒ごとが山間に散らばった、自然豊かなのんびりとした山村です。現在は、一軒も残ってなくそれぞれが散らばってしまい、殆ど再会することもありません。最近、そんな田舎に住んでいた60年位前の記憶が、時々頭をよぎるようになりました。田舎の家は、囲炉裏があり天井からつるされた細長い木の先に土瓶が掛かっており、そ



の中には、2合入りの徳利が入って燗が出来上がっています。夕方になると祖父が、なにやらぶつぶつと独り言を言いながら、熱燗を飲んでいます。時々なら何も思わないが、毎晩その連続です。幼心に祖父みたいな酒飲みには「絶対になるまい」と思っていました。 . . .

「あれから60年」現在、我が家は囲炉裏がコタツに変わりはしましたが、同じ光景が繰り広げられています。仕事を終えて帰り、女房の作ってくれたおかずを肴に、いっぱいのビールの味は最高です。また、3年前に同居を始めた3歳の孫が、爺ちゃん「ドーゾ、どうぞ、」と言いながら溢れるように注いでくれる晩酌に、思わずもう一本と進み格別の味がします。毎日傍で注いでくれる孫は、果たして・・・爺ちゃんのようにならないでくれと願いながら、カープの不振に腹を立て、今日も「美味しい酒を飲む」

一年間、会長はじめ会員の皆様には、大変お世話になりました。

『スローガン雑感』

計画委員長 田邊 和憲

計画委員会も残す処、最後の舞台 最終例会の懇親会のみとなりました。朽木糞牆の輩の小生に今年度も頂きました数々の会員の皆様のご厚誼と友情には感謝を申し上げ、この場を借りて厚く御礼申し上げます。叔 父が会員であったとはいえライオンズ



の何たるかを父から聞くこともなく、不勉強の私は入会するまで L I O N S が何を略したものかを知りませんでした。全く恥に入る次第です。

先般、米国では銃規制の法律が否決されました。この先あといくらの尊い生命が絶たれればこうした法律が制定されるのかと思うと胸が痛みます。歴史の浅い国故仕方ないにしても我祖国日本は、秀吉の時既に武力の不拡散の刀狩を行い、家康の時には和を尊び武勇の民ではあるが、好まない国となつたことは大方のご存知の処であります。

然し、先の大東亜戦争に敗れた我国日本は自国の防衛も他国に委ねるなんとも情けない国と成り果て、それを当然の事として考える国となり下がつてしまつたのも承知の処であります。日本国憲法前文の平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して我らの安全と生存を維持しようと決意した云々とあるのは皆様方もご存知の通りであります、北朝鮮による拉致、他国を脅かすミサイル他々又、中国は百発も核を積んだミサイルが日本に向けられているという事実をもってしても、それらを思う時、如何に虚しい憲法の前文であるかは誰しもが思う処であります。

私は、流石米国に生まれたライオンズクラブの何たるかは、銃で守る自由、自國の安全は自國民で守る如何にも自立した主権國家の思想の表れであると思います。仏國の人権宣言から米國の独立宣言に至るまで将にこうした思想の流れがライオンズク

ラブのスローガンにも脈々と流れていると思えてなりません。我祖国日本もこういう国であるべきと夢想するのは私一人だけでありましょうか。

『一年を振り返って』

環境保全・安全福祉委員会
委員長 下江 正泰

1年を振り返って、委員会事業としましては、8月の素盞鳴神社の清掃奉仕（早朝例会）をはじめ敬老会での米寿のお祝い、「愛の献血」、グランドゴルフ大会、新市社会福祉協議会への寄贈、薬物乱用防止教室の開催、ランドセルカバーの配布とありましたが、「愛の献血」では当日大変御迷惑をお掛けしましたが、藤岡会長、清水幹事をはじめ、メンバーの方々のご協力により無事終える事ができました。本当にありがとうございました。

グランドゴルフ大会では、メンバーで参加をし、地域の皆様との交流を大変楽しくさせていただきました。

また、薬物乱用防止教室では、戸手小学校、新市小学校で開催しましたが、約45分の授業の中で伝えていくのは、なかなか大変だと感じました。

最後に、メンバーの方々の参加が必要な事業が多い中ご協力して頂き、大変感謝致しております。

1年間どうもありがとうございました。



『一年を振り返って』

Y.E.、教育国際委員長 岡田 哲也

Y.E.、教育国際委員会の委員長を、と話が来たときには、正直戸惑いました。それは、私に出来るのか? Y.E.と言えば、留学生とか、メインになる事業の教育講演会があります、教育講演会の講師って誰を呼ぶ、とか、留学生の受け入れ、どうする?すごく考えました。でも大丈夫でした。藤岡会長、清水幹事、そして委員会の皆さん、メンバーの皆さんに、見事に支えていただきました。ありがとうございました。Y.E.留学の受け入れはありませんでしたが、フトベースボール大会、少年野球大会、新市駅伝、剣道大会、中央中音楽部等への協賛をさせていただきました。そしてクラブ、委員会にとって最も大きな事業であります、教育講演会、本年度は、風間杜夫氏、そして演出家の大場先生もお呼びしての講演会でした。当日までの段取り、当日の進行、運営、藤岡会長、清水幹事がお話、段取りをして頂いておりましたが、いざ当日の会場設営、照明、司会進行と、かなり大変でした、しかし会長をはじめ、クラブのメンバー皆様のご協力で、無事、講演会を終了することが出来ました。また、講演会当日、駐車場係の方には、



雪が降る寒い中、本当にありがとうございました。この講演会で私自身も勉強をさせていただきました。

最後に、当クラブメンバーの皆様、今後もご指導よろしくお願ひいたします。一年間ありがとうございました。

『1年を振り返って』

畠山 直秀

昨年の2012年5月にスポンサー平 謙介様のご紹介により、歴史と伝統ある福山新市ライオンズクラブに入会させて頂き誠に光栄に存じております。

早、1年が経過しその間に多くの諸先輩との温かい交流を頂きありがたい限りでございます。又、最初に国歌斉唱他格調高い姿勢に身に引き締まる思いが致しました。

諸先輩方には、我々衣料だけでなく様々な業者の方がおられ、その経験等を酒席の和やかな雰囲気の中でご披露していただき人生の糧とさせてもらっております。

弊社も過去のバブル崩壊後に事業の見直しで、その規模を大幅縮小した苦しい時期がありました。この間、レディース、ボーアイズ衣料分野は撤退し、主力のメンズもパンツ主体に切り替えてまいりました。企業が生き残る為には、社会から必要とされる商品を供給して初めて生かされるのだとその時感じました。今まで為替が大きく変化しており、社会のファンダメンタルズが変わっております。こういう状況の時この福山新市ライオンズクラブに入会させていただき、その「We serve! 我々は奉仕する。」精神は私に取って大変有意義と感じております。人生すべからく生かし、生かされていると最近良く思います。

皆の幸福の為に自分の事業で何ができるか。この姿勢が皆に生かされて企業が存続出来る基本と、海外展開を強化している今日この頃、人種を超えた理念と痛感しています。

末筆になりましたが、入会時には藤岡様、棗田様始め多くの方にご配慮頂き、ここに深く感謝申し上げます。こういう機会を与えて頂き有り難う御座いました。

新会員紹介



尾多賀 正紳
株式会社 尾多賀商店

皆さんこんにちは、昨年福山新市ライオンズクラブに入会させて頂いた尾多賀 正紳(45才)です。早いものでまもなく1年が過ぎ様と/orしていますが、この1年間を振り返ると自分にいいたい何が出来たのかと思ひますが、諸先輩方の元、毎日が勉強のつもりで頑張って参りたいと思います。

さて、私がこのクラブに入会するきっかけとなったのは、商工会青年部部長の時より声を掛けて頂いていたのがそうです。青年部を卒業してからは、言葉は悪いですがご丁重にお断りしていました。理由は妻の病気があったからです。そして、その妻が亡くなつて2年が過ぎました。で、入会する時もかなり悩みました。それは、3人の子供の子育て、家事、仕事と全てをこなすのは無理だからです。

しかし、青年部時代の知り合いの声で、名前を出して頂ける内が華かなと思い入会を決意しました。(多分、妻が生きていても背中を押してくれるかな!?)

入会したからには、楽しみます。

で、私の仕事ですが、宮内でガソリンスタンドを営んでおります。平成3年に大学を卒業し、3年間営業職をして、平成6年に家業を継ぐことになり、地域密着を目指して今でもですが、今後も頑張って行きます。最後になりましたが、まだまだ若輩者ではありますが、ライオンズ活動に積極的に参加して参りたいと思ひますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。



児玉 芳典
株式会社 コダマテクノ

この度、新会員として入会させて頂きました、児玉芳典です。早いものですでに一年が経過しようとしています。

以前より、ライオンズへの入会の誘いはありました、都合をつけては断り続けてきました。50歳と言う一つの節目でもあり、強い勧めもありまして入らせて頂きました。ライオンズクラブは社会奉仕組織で、ライオンズクラブの基本理念は「We Serve」我々は奉仕すると言う事です。まだ、一年間しか活動していませんし、右も左もわからない状態ですが、福山新市LCの歴史や、ライオンズたるもの的存在をよく知り、自分の置かれた立場をよく理解して、ライオンズにふさわしい行動をして行きたいと思っております。

話は変わりますが、例会時にいつもライオン誌を見ていますが、被災地のライオンズは今という見出いで各々のクラブの記事が掲載してあります、その中に「今回ほどライオンズクラブという組織を心強く思つたことはありません。心が折れそうになつてゐる中、日本全国の、そして世界中のライオンズから寄せられた温かい支援が、どれだけ力になったことか。また、国際会費等の免除支援も、被災したクラブにとっては、大きな支えになっています。」という記事がありました、こうしたライオンズの友情、行動力で徐々にではありますが、復興へ向けて動き始めているのだと痛感しています。

最後になりますが、次年度よりY.E・教育国際委員会の委員長として活動して行く事になりますが、正直申しまして全くわからない事ばかりです。先輩諸氏の皆様方、委員会のメンバーの皆様には大変ご迷惑をお掛けする事と思いますが、今以上のご支援、ご指導をお願い申し上げます。



桑木 達也
桑木給食 株式会社

此の度、現会長藤岡孝二様のスポンサーを頂き、歴史と伝統ある福山新市ライオンズクラブに入会させて頂き誠に有難うございます。経営者として、或いは人として大先輩である方々と行動をともに出来ることを非常に光栄に思います。若輩者ではございますが、ライオンズクラブの一員である自覚と責任を持ち一生懸命取り組んで参りたいと思います。

我逢人・・「我、人と逢うなり」・・人ととの出逢いの尊さを三文字で表した言葉です。心と心との出逢い、物と物との出逢い、人と物との出逢い。自分で考えて、自分で行動していたのでは見つからないことがあります。構えた格好でも、些細な偶然でも、人の出逢いは何かを生みます。人は自分と違う領域を持って生きている。だから出逢いは自分自身を大きく成長させてくれます。人と逢うことを大切に。人に逢える場を大切に。人と逢う姿を大切に活動させていただきます。ライオンズだからこそ出逢えた方々もたくさんいらっしゃいます。まずは例会から。

今後とも、ご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。



寺岡 謙
社会医療法人社団 陽正会
寺岡記念病院

昨年より、ライオンズクラブに入会させて頂きました寺岡です。寺岡記念病院の創業者である祖父、そして現理事長がライオンズクラブに関わられている姿は目にして

おりましたが、まさか自分が入会し活動するとは思ってもみませんでした。最初はどのような活動をするのかも分からなかったのですが、先輩方のご指導もあり、何とかここまで活動できている所です。

ライオンズクラブはアメリカで誕生したとの事ですが、私は20代の殆どをアメリカのカリフォルニア州で過ごしました。大学に通っていたのですが、その時に感じたのはアメリカというのは不思議な国だなという事です。「個人主義の国」というイメージがあったのですが、しかしそれは個人が勝手にいろいろな事をやるという意味ではありませんでした。個人の主義や考え方というものを尊重するが、社会のあり方として、持てる者は社会に貢献・奉仕するという精神が根付いたように思います。日本よりも、チャリティ活動やボランティア活動などが非常に積極的に行われており、大学の願書にもそのような活動を記載するような所があったかと思います。

いずれにせよ、そのような精神を持つ国よりライオンズクラブのような奉仕団体が誕生した事は至極当然であると考えますと同時に、また、その末端の一部に参加させて頂いている限りは、いろいろな活動に積極的に参加していきたいと考えています。今後とも、ご指導の方をよろしくお願いします。



宮原 一郎
宮原印刷 株式会社

昨年7月に、歴史ある福山新市ライオンズクラブに入会させていただきました。

長らく父がメンバーとしてお世話になってまいりましたが、その思いを継ぎまして入会させていただくことになりました。私は歳50を少し過ぎたばかりで、既に天命を知るはずではありますが、仕事にまだまだ手一杯の日々でございますので、皆様の

ご活動にいかほどのお手伝いができることがと迷い躊躇したものでございます。しかし、奉仕の精神のもと地域や職域をこえた方々の集まりの中で自分自身にもさらに学ばなければならないこともあると思い、入会させていただくことにした次第です。

私の会社は、印刷会社として先々代から続けて1世紀近く地元の皆様に支えられて仕事をさせていただきました。最近はITのお陰で、普段はお会いできないような遠方の方々との取引が増え、事務的なコミュニケーションはとれるものの、大変合理的でドライな世界になりつつあると感じています。その一方でSNSをはじめとした世界では「人同士のつながり」が一層求められているということだと思っています。

福山新市ライオンズクラブに入会させていただいたのも、同時代の経営者やご活躍の方々と意見交換でき、学ばせていただきたいと思ったからです。活動に関しましては、まだ右も左も分からぬ初心者でございます。しばらくご迷惑をおかけするかもしれませんのが、今後の活動を通じまして少しずつ慣れてまいりたいと思っております。そして、福山新市ライオンズクラブで感動の奉仕を体現したいと思いますので、どうぞよろしくご指導ご鞭撻のほど賜りますようお願い致します。



『手紙』

佐藤 大地
ユーセイ建設 株式会社

最近ではめっきりこういう呼び方をしなくなりました。「メール」と呼んだ方がなじみは良いのかも知れません。

私は生涯で一度だけ父から手紙をもらったことがあります。それは今から二十年前の高校生の時、父に病気がみつかって、検査と治療のために遠方へ長期入院した病床からの手紙でした。

「手紙」は、留守はお前に任せたという冒

頭で始まるも、すぐに呑気に過ごしている私の高校生活を心配し親父の小言にかわります。そして、自分の実体験や、見聞きしたことで感じたことをふまえ、努力することや挑戦することの大切さを語り、それで成功しても失敗しても成長できると、道を示してくれました。最後は「君がこの、あるいはほかの、人生の挑戦にどのように応じようと、私は常に君を信頼している」と結ばれます。当時の私にとっては、直接言葉で言われるよりも衝撃的でしたし、今では何もしないよりも挑戦して経験した方が良いと思う礎になっております。

さて、寄稿にあたり真っ先に思い浮かんだのが、この親父からの「手紙」でした。なぜだか理由はよくわかりませんが、入会して以来、福山新市ライオンズクラブに父性を感じているからかもしれません。会員の皆様からは「よく働き、よく遊ぶ」そんな日本を支えてくださった、親父の背中を感じます。そして私自身も、その中に加えていただき、少しでもいろいろなことを学ばせていただきたいと思います。

最後に、二十年ぶりに「手紙」を取り出して再読しあらためて、父から叱咤激励を受けました。こうした機会を与えていただいた藤岡会長、入会を後押ししていただいた青木様、そして若輩者の私を変わらず可愛がってくれる皆様に感謝いたしております。ありがとうございました。また、引き続きご指導いただけますよう、今後ともよろしくお願ひいたします。



高須賀 令二
株式会社 広島銀行新市支店

平成24年10月に福山新市ライオンズクラブに入会しました。(株)広島銀行新市支店の高須賀でございます。

平素は、広島銀行をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。弊行の経

當方針の中に地域密着・社会貢献などある中で、ライオンズクラブ入会により、奉仕活動に参加することとなり、早くも半年が経過いたしますが、銀行員の私にとって非常に良い経験をさせていただいております。クラブ広報誌に寄稿の依頼があり、テーマは自由ということですので、仕事ではなく趣味を通じて感銘を受けたことをお伝えします。

私の趣味は（一向に上達しない）ゴルフです。何故ゴルフかと言うと同期との年一回のゴルフで、オーバードライブ（常に50ヤード以上）されたのがきっかけで、負けず嫌いの性格からのめりこみ、約一年半ゴルフスクールに通い、只管、週一回休日に打ち込みましたが、それだけでは進歩が無く、理論的な理解も必要と思い、今年の年明けから専門書（ゴルフはパープレイが当たり前

佐久間 韶、だからアナタは上手くなれない タケ小山、練習しなくても10打よくなるアプローチ・パター 永岡修一、トップアマだけが知っているゴルフ上達の本当のところ 本篠強、180ヤード飛べば80台でまわれる魔法のスコアメイク術 伊丹大介）を熟読しました。（何冊も読んで上達できるほど、甘くないのがゴルフです。）

その中に、野球界の名選手にして名伯楽の野村克也さんが次のようなことを言っています。

考えが変われば、意識が変わる。
意識が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、習慣が変わる。
習慣が変われば、人格が変わる。
人格が変われば、運命が変わる。
運命が変われば、人生が変わる。

「ミスが起きたらそうだな」「トラブルになるかもしれない」と気づくことが、大きなスタートになる。気づけたら、何かを変える。……
使うクラブか、構え方を変え、打ちたい球のイメージを変える。こうしたことを変えれば、スイングが確実に変わる。気持ちも

変わって体の動きやすさも変わる。……

野村克也さんの言っていることは、様々な物事に通じる物だと思います。

弊行は昨年トップが交代となり、正に中期経営計画の意識・行動改革に取り組んでいる中で、名言に出会い感銘しました。

来年度は福山新市ライオンズクラブ50周年を迎え、その準備に会員各位が一丸となっておられます、私は何事においても一生懸命、頑張ります。

We Serve



吉元 大裕
株式会社 大木建設

この度、藤岡孝二会長と出原正博さんにお説きいただきまして福山新市ライオンズクラブに入会させて頂きましたことを心より感謝を致しております。

私は、昨年末まで府中青年会議所に所属させていただいており、卒業を向かえたばかりで今年から数年間は社業に重点をおいていこうと考えてきました。

また、子供がしている少年野球に於いて役割を頂いており、週末は全て少年野球に時間を費やす状況で、ライオンズクラブに入会させて頂いても出席できず、ご迷惑をおかけすることになるのではないかと不安もありました。しかし、そういった不安をご理解していただいたうえで、不安を払拭するよう丁寧な説明をしていただきました。

50周年を迎える年に福山新市ライオンズクラブに会員として立ち会えることに感謝すると共に、今まで先輩諸氏が築き上げてこられました伝統あるクラブの意志を少しでも早く理解し、発展させる一助になれるよう努力していきますのでご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。



「弔辭」

謹んで、故三島 久人様のご靈前に福山新市ライオンズクラブを代表してお別れの言葉を申し上げます。

三島先生の突然の訃報に接し、会員一同
まことに残念でなりません。ご遺族の皆様
にお慰めする言葉もなく、皆様方のご心情
いかばかりかとお察し申し上げます。

顧みますと、先生は昭和59年10月、新市ライオンズクラブに入会され、爾来、ライオンズクラブに於ける要職に就かれ、平成10年から平成11年二年理事、平成11年から平成12年一年理事を、その職をよく全うされ今日に至るまで、28年間の永きにわたって在籍されました。

また参加されました数々の奉仕活動は、地域社会の文化向上に役立ち、しかも住みよい郷土づくりの一助として、末永く足跡を残すものと信じております。

先生は、クラブにおける奉仕活動には積極的に参加されました。

平成23年、先生は終身会員になられ、一線からひかれたとは申せ、体調が許す限りは例会に出席され、他の会員の模範となるお姿でした。

私達は先生の尊いご遺志を受け継ぎ、更にライオニズムの高揚に勤めて参りたいと思ひます。

最後のお別れに臨み、生前の輝かしいご功績に感謝申し上げると共に、哀悼の意を捧げ弔辞といたします。 合掌

平成24年12月29日

福山新市ライオンズクラブ
会長 藤岡 孝二

1年間のアクティビティ

7月

- ・L C I F 20 ドル 56 名送金
合計金額 89,600 円

8月。

- ・ダメゼッタイ国連支援へ送金
- ・早朝例会前、素盞鳴神社清掃奉仕
- ・九州豪雨災害に対する支援
合計金額 51,307 円

9月

- ・フットベースボール大会開催
- ・各地区で行われた敬老会へお祝いと祝電を贈る
合計金額 90,000 円

10月

- ・愛の献血奉仕 400cc 212名
- ・剣道大会助成金を贈る
- ・中央中学校オータムコンサートの助成

合計金額 139,864 円

11月

- ・第10回グランドゴルフ大会開催
- ・少年野球大会開催
合計金額 180,000 円

12月

- ・新市町内駅伝大会の後援
- ・青少年健全育成講演会
トークショー＆落語
風間杜夫 あくなき挑戦の世界
合計金額 999,017 円

1月

- ・戸手小学校にて、薬物乱用防止教室開催
合計金額 3,465 円

2月

- ・新市小学校にて、薬物乱用防止教室開催
- ・社会福祉協議会へ10万円寄贈
合計金額 102,530 円

3月

- ・ランドセルカバー200枚贈る
合計金額 39,200 円

5月

- ・『愛と光と泉の箱』募金送金
合計金額 20,000 円

合 計 労件 11 件
金件 18 件

金額合計 1,714,983 円

